

2024年度「事故速報」 (対象：幼児、小学生、中学生、高校生、一般)

(注) その月に報告のあった事故をまとめた速報です。

2024.5.27現在

No	発生日	報告日	学年等	性別	経験年数	病名	重大 準重大	場所 状況	技名等	概要	事故防止の指針
1	2/17	5/3	中3	女	2年1ヶ月	担当医による最終的な診断は「低(脊)髄圧症完治」	—	県武道館	—	乱取りで投げられて受け身を取ったところへ、他の乱取りをしていた人が投げられた足が頭部に当たった。医師から低髄圧症完治の診断を受け、許可を得て、保護者同意の下、5月3日中学生大会に出場。	立ち技の乱取りを行う場合、投げ足(投げられた人の脚や足)が、他の乱取りをしている人に接触しないよう十分な間隔を保つなどの配慮や注意喚起が必要である。特に、合同練習など普段と異なる環境で練習する場合は、過去に重大事故が起きていることも踏まえ、指導者が事前に組み合う人数を制限するなど安全な練習環境を整えることが重要である。
2	4/21	4/22	中2	男	7年0ヶ月	脊髄しんとう	—	市カルチャーセンター柔道場	大外刈り(かけた)	昇段審査会の試合中、大外刈りをかけたところ真後ろに返され、畳に後頭部を強く打った。救急搬送しCT検査したところ脳と頸椎に異常無し。手足のしびれが残っていたため念のため1泊入院して経過観察。翌日専門医の画像診断を受けたところ脊髄しんとうの診断。その後、気になる症状はなく、バスケット(部活)は再開したが、柔道(スポーツ少年団)は再開するか未定とのこと。	コロナ禍以降、試合、練習試合等における頭部打撲の事故が増加傾向にある。日常的な基礎体力の向上、受け身の習熟とともに、試合等の主催者は、頭部事故が多発していることへの注意喚起と事故発生時の救急対応など重大事故防止の徹底が不可欠である。
3	5/12	5/13	中3	男	7年10ヶ月	脳しんとう	—	市体育センター	払い巻き込み(かけた)	試合で払い巻き込みをかけた際、自ら倒れ、相手に乗られ、右側頭部から落ちた。救急搬送し、念のため1日入院して翌日午後退院(他県での受傷、入退院)。紹介状を受け地元病院に通院予定。	
4	5/3	5/15	高2	男	1年1ヶ月	脳しんとう	—	県営武道館	背負投げ	試合形式の練習中、背負投げをかけられ後頭部を強打。受傷後、安静にしていたが、夜になってふらつきを感じ病院を受診し脳震盪と診断、2週間の安静の指示を受ける。	
5	5/18	5/28	中3	男	2年2ヶ月	頭部打撲	—	市総合体育館武道館	背負投げ	乱取り中に背負い投げをかけられ頭頂部から畳に落ちた。意識低下がみられたため病院に搬送したが検査で異常は無かった。念のため2日間は安静にした。その後、特に問題は無い。	

【全柔連見舞金制度】

全柔連は、見舞金制度を設けており、その費用(2023年度から500円)は登録時に支払ってもらっています。一部には、大会に出場しない、昇段しない等の理由で登録しない競技者も見受けられます。

柔道を安心して楽しむために、柔道をやられる人は全員、登録(見舞金制度加入)をお願いいたします。